

世界気候エネルギー首長誓約 バッジ交付証明書

一宮市長 中野正康様

2025年6月5日

世界首長誓約/日本 事務局

事務局長 杉山範子

一宮市は、世界気候エネルギー首長誓約(GCoM)の世界事務局から、下記のように、取組の段階に応じたバッジが交付されましたので、ここに、バッジ交付証明書を発行します。

記

一宮市は、6大陸の13,700以上の地方自治体(総人口12億人以上)が参加している気候変動対策の世界最大の連合「世界気候エネルギー首長誓約」のメンバーです。

一宮市は2024年9月に世界首長誓約/日本に署名し、気候危機に対処するため、「持続可能なエネルギーの推進」、「温室効果ガス排出量の国の目標以上の削減」、「気候変動の影響への適応」の3つの誓約の達成に向けた取組を推し進めています。

GCoM世界事務局は、一宮市が世界首長誓約/日本事務局を通じて報告した2024年のデータを受理し、以下のバッジを交付しました。

GCoMのWebサイトには、一宮市に交付されたバッジが表示されます。

緩和バッジ 	インベントリ、削減目標設定、計画策定の各段階が完了すると交付されます。 インベントリ 目標設定 計画策定 基準年の温室効果ガス排出量の提出 温室効果ガス排出削減目標の設定 具体的な緩和策を含む「行動計画」の提出	コンプライアント バッジ  コンプライアントバッジは緩和と適応のそれぞれの段階がすべて完了した自治体に交付されます。モニタリング報告を継続することでバッジは保持されます。
適応バッジ 	リスク・脆弱性評価、目標設定、計画策定の各段階が完了すると交付されます。 リスク・脆弱性評価 目標設定 計画策定 気候リスクと脆弱性評価の提出 気候変動の影響への適応策の目標設定 具体的な適応策を含む「行動計画」の提出	

一宮市の2024年の進捗報告は、一宮市が設定した野心的な目標を達成するための鍵となります。今後も積極的にGCoMの誓約自治体と情報共有し、事務局が提供する支援を活用し、気候行動計画の実施とモニタリングを継続してください。

一宮市がすべての人にとって、より健全で、より持続的で、より強靱になるよう、私たちと一緒に活動を続けていただけることを楽しみにしています。